



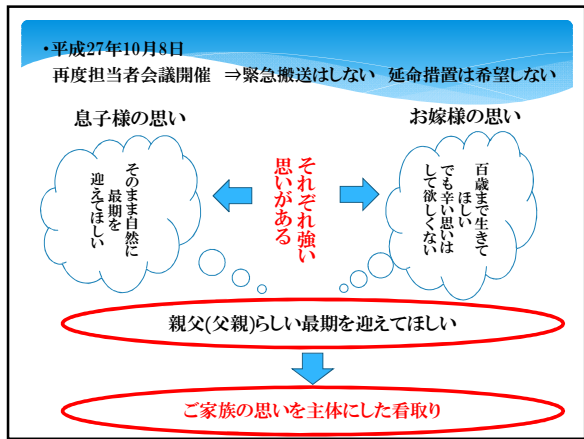
## 対象者 K様について

男性 93歳 介護度1  
 平成20年よりショートステイ利用  
 脳梗塞により左上下肢麻痺  
 (70歳ごろ)  
 ADLはほぼ自立  
 書道が趣味

平成23年2月 脳梗塞再発  
→入居(平成23年9月) 介護度5

**<普段の生活>**  
 基本臥床して過ごす  
 食事はベッドにて全介助  
 食事形態は、ミキサー食 水分はトロミ使用  
 ADLは全介助  
 入浴は週2回シャワートローリー使用  
 キーパーソンは長男  
 長男嫁が面会に来る(2日1回)

**<シャワートローリーとは>**  
 臥床したままシャワー浴ができる福祉用具  
 水深6cm程度の湯をためることも可能  
 慈恩ではベッド浴のかわりとして使用している



(初回)・紹介・継続		(認定済)・申請中	
入居者氏名	K 殿	生年月日	T12 年 月 日
住所	富士市		
施設サービス計画作成者氏名	宇賀神 しのぶ	看護職	
介護老人福祉施設・事業所及び所在地	ケアハウス慈恩 富士市		
施設サービス計画作成(変更)日	H27年10月8日	看取り期間	平成27年10月8日 ~ 平成27年11月8日
要介護状態区分	要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・ <b>要介護5</b> (その他)		
入居者及び家族の看取りに対する意向	長男...急病時、病院への搬送もなし。点滴、酸素、延命措置は望みません。母の時、病院で早い思いをさせたので、おやじはそのまま自然に最期を迎えて欲しい 長男嫁...長生願って欲しい。百歳まで生きて欲しい。でも辛い思いして欲しくない。		
医師の看取りに対する意見	患者様、ご家族様のご意向を配慮し、積極的な延命処置はせず、患者様の負担の無い様に自然な形でみまわります。		
看取りの方針	家族立会いのもと、主治医から病状説明を行い、看取り介護を実施します。 24時間体制で状態観察を行います。また、主治医と連携、他職種とも情報の共有を図り、統一したケアを実施する。 ご本人の苦痛が無い様に看護を行います。 ご家族様の意向を確認しながら安心して行なわれるケアに努めます。		
看取りサービス計画書について説明を受けた内容に同意し、交付を受けました。	説明/同意日	平成	年 月 日
看取りサービス計画書について説明を受けた内容に同意し、交付を受けました。	入居者氏名		
	家族氏名		

特定施設サービス計画書		作成年月日 H27年 10月 8日				
入居者名	上様					
生活全般の観念する ※生活課題(ニーズ)	長期目標 (短期)	短期目標 (短期)	サービス内容	担当者	担当	開始
移行活動が促され、種々の活動が出来る	H27-10-08	H27-10-08	1.おののけず、呼吸器管理、投薬、ベッドの整理、トイレの無菌の確保を行い、活動の確保を行う。 2.緑色、黄色、赤のサインボードの有無の確認 3.居室の有無確認、排気、排風の確認、色、住友、換気扇の動作確認	ケアスタッフ 看護師 介護員 ケアマネ	常駐	H27-10-08
認知症の悪化防止	H27-10-08	H27-10-08	1.認知症をテーマに教育、演習をする。 2.認知症の予防、生活習慣の改善、生活習慣の改善、生活習慣の改善	ケアスタッフ 看護師 介護員 ケアマネ	常駐	H27-10-08
褥瘡の予防	H27-10-08	H27-10-08	1.褥瘡の予防、生活習慣の改善、生活習慣の改善、生活習慣の改善 2.褥瘡の予防、生活習慣の改善、生活習慣の改善、生活習慣の改善	ケアスタッフ 看護師 介護員 ケアマネ	常駐	H27-10-08
転倒/転落の予防	H27-10-08	H27-10-08	1.転倒/転落の予防、生活習慣の改善、生活習慣の改善、生活習慣の改善 2.転倒/転落の予防、生活習慣の改善、生活習慣の改善、生活習慣の改善	ケアスタッフ 看護師 介護員 ケアマネ	常駐	H27-10-08
家族の共有及び情報共有	H27-10-08	H27-10-08	1.家族の共有及び情報共有、生活習慣の改善、生活習慣の改善、生活習慣の改善 2.家族の共有及び情報共有、生活習慣の改善、生活習慣の改善、生活習慣の改善	ケアスタッフ 看護師 介護員 ケアマネ	常駐	H27-10-08
看取りに安心して看取業務を行う	H27-10-08	H27-10-08	1.看取りに安心して看取業務を行う、生活習慣の改善、生活習慣の改善、生活習慣の改善 2.看取りに安心して看取業務を行う、生活習慣の改善、生活習慣の改善、生活習慣の改善	ケアスタッフ 看護師 介護員 ケアマネ	常駐	H27-10-08
看取り日...1日につき188円	看取り日...2日につき188円	看取り日...3日及び4日...1日につき288円	看取り日...4日以下30日以下...1日につき448円			

**フロア会議を実施 → 今までのK様への対応を見直す**

<三食とも居室ベッド上で介助していた>

ご家族から…  
「少しでも皆さんと一緒に食事をして欲しい」

職員から…

起こすのが大変 → 臥床したまま介助した方が楽 → **職員本位の介護**

<見直し>

1日1食(昼食時)離床し、リビングで召し上がる

↓

1日3食離床し、リビングで召し上がる

<食事量が低下していても補食等の提供をしなかった>

ご家族から…  
「何でもいいから食べてほしい」

職員から…

ミキサー食だから、何をあげていいかわからない → 食事以外を介助するのが怖い → **職員本位の介護**

<見直し>

K様の好きなチョコレートを提供してみる

↓

本人の好きな物を補食として提供する

**今まで以上に私たちが取り組んだこと**

<食事>

①食事の形態を考える  
粥・ミキサー・トロミ食⇒ムせてしまい、途中で中止する

↓

特別嚥下食(スベラカーゼ、ミキサーパウダー)で対応 ⇒ムセなし

特別嚥下食(スベラカーゼ、ミキサーパウダー)とは、  
口腔外である程度の食塊になっており、舌でもつぶせる程度の柔らかさをもった形態。

②ご本人の好きな物を持ってきてもらう(饅頭・チョコレート等)  
③食事時以外で、本人の食べたいときに提供する

**今まで以上に私たちが取り組んだこと**

<口腔>

①毎食時口腔体操を声掛で、本人に「今から食事ですよ」と分かてもらう  
②口腔体操として、「富士山」の歌を歌う+バタカラ体操を行う  
③毎食後必ず口腔ケアを行い、清潔を保つ  
④口腔内の渇きや舌の状態を確認していく

<生活>

①離床を多く出来るように、車椅子等の見直し、変更を行う  
②居室にいる際は、歌のビデオや本人の好きなTV番組を流す  
③職員が訪室を多く行い、声かけや会話を持つようにした

**<レクリエーション参加風景>**



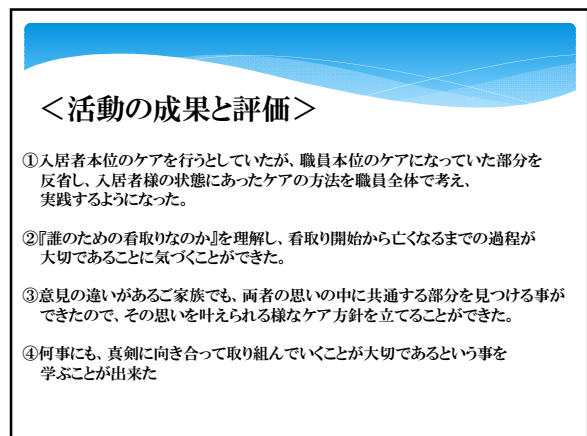
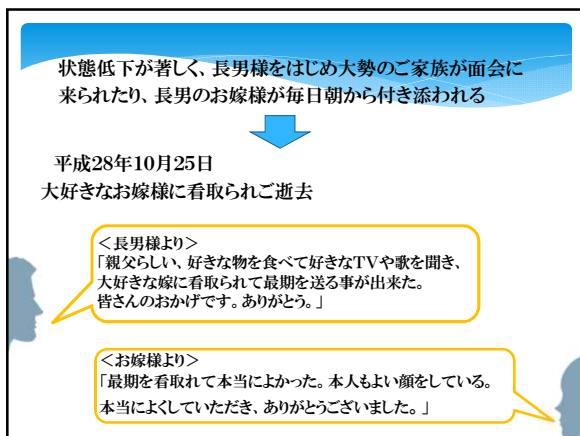
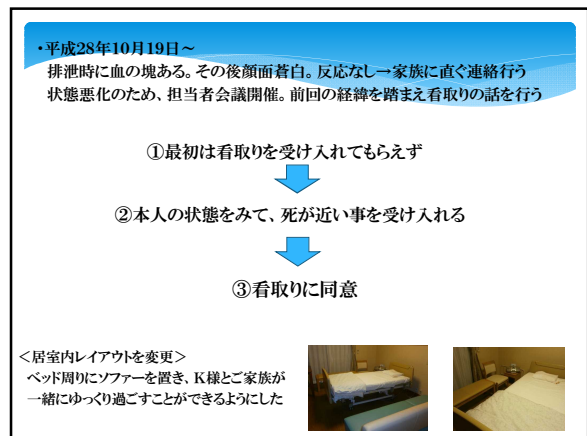
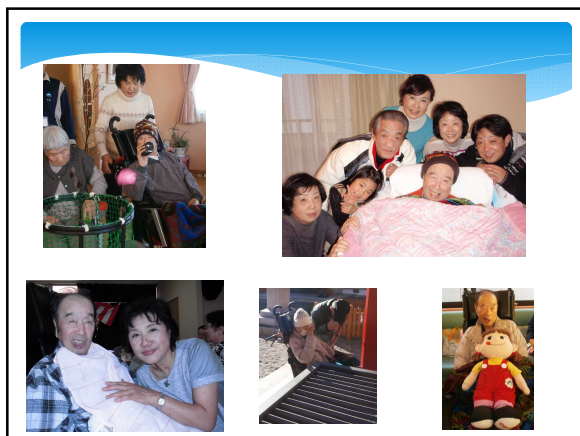
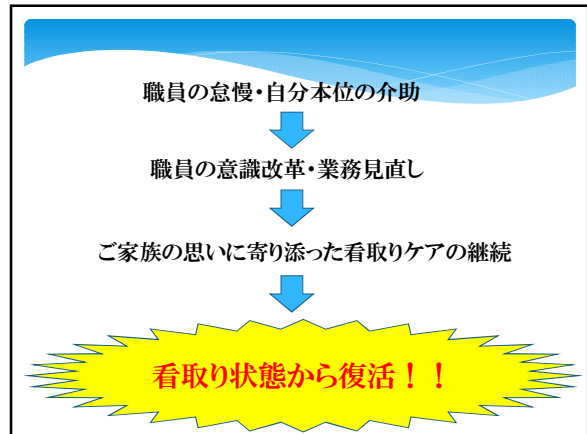
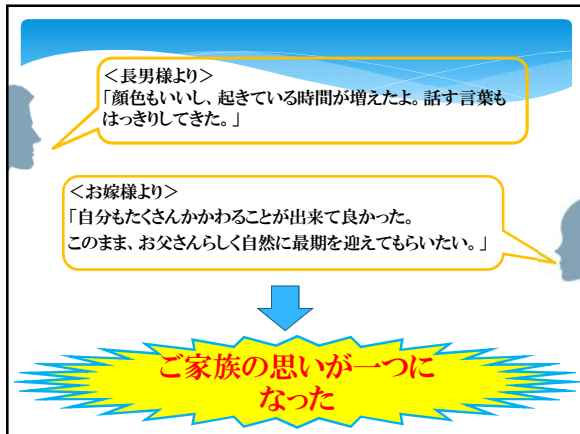
**<結果>**

①以前より口の開けがよくなった  
②食事もムセなく食べられるようになった  
③好きな物は全量摂取するようになった

→ **食事量増加**

①離床の機会を多く持つ事で、行事に参加出来るようになった  
②「おはよう」「おいしい」などの発語や笑顔が見られるようになった  
③レクに参加する事で可動域が広がり、手を振る等動作が増えた  
④入浴もシャワートロリーからリフト浴へ改善出来た

→ **活気がみられる**



### <今後の課題>

- ①それぞれの思いがあるご家族に対して、どのように気持ちを汲み取り、ご家族皆様満足していただける看取りケアができるか
- ②看取りへの理解を得るにあたり、職員が誠心誠意対応し、ご家族の信頼を得る事が必要である
- ③職員のスキルの違いによる気付きや看取りのとらえ方等にバラツキが生じるので、勉強会等でスキルアップを目指していく

ご清聴ありがとうございました

ケアハウス慈恩